

令和 5 年度第 1 回尼崎市保健所運営協議会議事要旨

- 1 日 時 令和 6 年 3 月 21 日（木）午後 1 時 3 0 分から 3 時 0 0 分まで
- 2 場 所 尼崎市保健所 集団指導室・プレイルーム
- 3 出席者 （委員 12 名）
 原会長、内田副会長、並河委員、中村委員、田中委員、渡邊委員、
 内野委員、伴委員、安田委員、西村委員、井上委員、杉岡委員
 （事務局 17 名）
 濱田所長、新家部長、巽部長、河合課長、今井課長、石井課長、榎
 並課長、田原課長、井上所長、津田課長、井上課長、中課長 ほか
- 4 欠席者 （委員 3 名）
 喜多村委員、岩田委員、菊谷委員

5 議事録

- (1) 開会あいさつ
 委員の出席状況、傍聴者の状況（なし）の報告
- (2) 尼崎市保健所長あいさつ
- (3) 各委員紹介、事務局職員紹介
 委員名簿に基づき、事務局より説明
- (4) 会長、副会長選出（各 1 名）
 会長…原委員、副会長…内田委員
- (5) 会長・副会長あいさつ
- (6) 議題

令和 5 年度尼崎市保健所等事業概要について 《資料 1 に基づき、事務局より説明》	
発言者	発言内容
会長	保健所が非常に多岐にわたる事業・役割を担っていることを、改めて認識いたしました。母子保健の取り組みについて、ご意見等ございますか。
委員	「こんにちは赤ちゃん事業」では地区担当保健師が訪問事業を行っているとのことですが、民生児童委員は当事業に参加していません。訪問することで民生児童委員としても新たに把握できることも多いと思いますし、母子保健の分野において、行政とあまり連携がとれていないように感じます。
事務局	地区担当制で保健師・栄養士・歯科衛生士・精神保健相談員が各エリアを受け持っており、要保護児童対策地域協議会の中で、主任児童委員と連

	携しながら、虐待の恐れがある家庭の見守り活動や、各地区ごとの定例の会議の中で情報共有をしております。
委員	主任児童委員と連携をとられているとのことですが、民生児童委員は児童委員も兼ねており、児童虐待についても法的に訪問活動が可能であるはずですが、母子保健の分野で行政とあまり連携がとれていないことは課題であると感じています。
保健所における新型コロナウイルス感染症に関する取組の振り返り 及び尼崎市感染症予防計画（素案）について 《資料 2 に基づき、事務局より説明》	
会長	コロナ禍の 4 年 3 ヶ月のデータに基づく振り返りと課題、必要とする対応、またその対応を盛り込んだ尼崎市感染症予防計画について、詳細にご説明いただきました。 私自身、医師会で新型コロナウイルス感染症の担当副会長であり、コロナ禍の 4 年 3 ヶ月を思い返すと感慨深い想いです。特に自宅療養に関しては我々医師会、訪問看護連絡協議会を始め、行政や各介護団体の方々にも非常にご尽力いただきました。 また生活習慣病を悪化させないためには口腔機能の維持向上が大事ですが、歯科医師会の先生方におかれましても、口内の診療ということもあり感染リスクの高い中、ご尽力くださったことを付け加えておきたいと思います。
副会長	会長より有難いお言葉を頂き、感謝いたします。 コロナ禍において先行きの見えない中、日本歯科医師会より、「自己判断による治療の中断は控えていただく」「口腔衛生管理は新型コロナ感染リスクの低減、誤嚥性肺炎、糖尿病のリスク管理等、全身の健康に繋がるため、口腔ケアを積極的に受けていただく」ことの 2 つが通達されました。 お陰様で大きなクラスターもおこらず、感染リスクに怯むことなく治療に臨むことができましたのも、医師会の先生方、行政の方々のお取り計らいによるものです。ありがとうございました。
能登半島地震に対する保健所の支援状況について 《資料 3 に基づき、事務局より説明》	
会長	能登半島地震に対する保健所の支援状況について、ご説明ありがとうございました。資料にも記載されておりますとおり、被災地派遣を行った穴水町の高齢化率が 48.12%であり、尼崎市の高齢化率 30%弱と比較しても非常に高齢者が多い地区であることが分かりますが、介護の問題も大きく関わってくると思います。高齢者の生活を支える・介護の継続といった観点から、ご意見いただけますでしょうか。

委員	本日も朝9時頃に関東で地震がありました。午前中は会館に高齢者60人程が集まっており、「最低限の荷物はまとめておきましょう」と注意喚起をしていました。日頃から、有事の際には会館で炊き出しをするので、会館に集まっていただくように声掛けをしており、また避難所マップを作成し、地域で共有もしています。
委員	福祉避難所もありますので、まずは指定避難所に避難して頂き、高齢者や障害者など、災害時に援護が必要な人は福祉避難所へ繋いでいただくことができます。また尼崎市では個々の避難カードを作成する働きかけを行っており、平時から災害に対する意識を持つことが大事であると考えます。
委員	市内の各避難所に、マンホールトイレを設置していると聞いています。災害発生時に停電や断水などの影響で、トイレが使用できなくなった時にマンホールの上にテントと便器を設けるものですが、市はそのような取り組みもしています。
会長	ご意見ありがとうございます。各団体より様々な取組についてお話いただきましたが、災害時の犯罪予防の観点から、ご意見いただけますでしょうか。
委員	私は能登半島地震の被災地へは派遣されていませんが、東日本大震災では7回派遣された経験があります。災害時は人家が空き家になることを狙った空き巣や、災害活動に使用する重機の盗難が被災現場では発生しています。発災した際には当然すぐに避難しなければなりませんが、貴重品は肌身離さず所持して頂くことが、犯罪の予防につながると考えます。
会長	ありがとうございます。被災地では避難所での食中毒防止も重要かと思いますが、ご意見いただけますでしょうか。
委員	大きな地震の発災直後は食料品が不足し、各地から支援物資が届くが、少し時間が経過すると反対に余ってくることも多いというニュースを以前耳にしたことがあります。夏場に地震があった場合に備えて、衛生的に物資を届ける方法や保存方法を考える必要があると思います。 また私自身、阪神淡路大震災被災時は小さい子どもがおりましたが、現在は認知症の母の介護をしており、被災した人の年齢や性別、状況、土地柄等により、必要な物資や情報が全く変わってくると痛感しました。
会長	ありがとうございました。最後に事務局からお願いいたします。
事務局	本日は皆さんお忙しい中ありがとうございました。本日の協議会を今後の保健所運営等に活かしていきたいと思っております。なお、本協議会につきましては、年に一回程度開催させていただいておりまして、次年度の予定はまだ決まっておりませんが、御意見いただきたい案件、お伝えした

	い案件等が出てきましたら、改めてご連絡さしあげたいと思っております。引き続き本協議会の運営について、御協力の程よろしく申し上げます。事務局からの連絡事項としては以上です。
会長	ありがとうございました。お忙しい中、お集まりいただきありがとうございました。それでは、これをもちまして、令和5年度の尼崎市保健所運営協議会を閉会させていただきます。本日はありがとうございました。

以 上